

## 韓国語の授業活動

—初級レベル編—

韓 銀 暎

### 要 旨

韓国語を教授する上で教室での活動は単純に授業を面白くするための手段ではなく、実生活ですぐに使える実用的な韓国語を自然に身につけられるようにする目的がある。

韓国語初級レベルの文法を効率よく学ぶために筆者の授業ではワークシートを用いたグループワーク、ゲームなどで文法力の定着を図ろうとしている。それらの活動を通して学習者は積極的に授業に参加できるようになり、結果的には自発的に意味のある言葉を発する能力を培うことができると思われる。本稿はそれらの活動を行っている授業内容を実践報告したものである。

キーワード：韓国語初級クラス，授業活動，指定詞の活用，存在詞と位置名詞，漢数詞と固有数詞

### 1. はじめに

近年、韓流ブームもあり大学以外においてもカルチャースクール、個人レッスンなど様々な機会韓国語を学ぶ学生が増え、韓国語の教師たちは「どのようにしたら学習者たちが楽しくかつ、積極的に授業に参加することができ、韓国語を身につけられるのだろうか」と思案していることであろう。しかし、韓国語を熟知していることが直接「良い教師」

となるとは限らない。韓国語を教える教師ならば誰でも上手に韓国語を自由自在に使いこなせるはずであるが、言語を使いこなせる能力がより良い授業を保障するわけではないのである。

言語を上手に教授するためには該当言語の言語知識が豊富であることはもちろん、学習者の立場に立って、学習者が理解し易く、使いやすいように言葉を教える方法を熟知していることが望ましい。そして語学教師の役割とは学習者に該当言語の文法や単語に対する知識を教えることのみならず、学習者が授業で学んだ言葉を利用して他の人との意思疎通ができるように学習者を導くことにある。

教室での活動は、文法を分かりやすく理解させることが重要なポイントとなる。そのために筆者は様々なアクティビティを用いることにしているが、それらは単に授業を面白くするためではなく、実用的、かつ実践的に外国語を使用できるようにさせるためである。また、それらの教室での活動を通じて学習者は積極的に授業に参加できるようになり、教科書に載っている文をただ繰り返す機械的な真似ではなく、自発的に意味のある言葉を発することで韓国語の能力を培うことができると思われる。

本稿では韓国語初級クラスで学ぶ文法を基にした授業で行う授業活動を実践報告する。

## 2. 韓国語初級クラスで学ぶ文法

テキストによって多少の相違はあるが、初級で学ぶ文法は「一般助詞」、「指示詞」、「指定詞」、「～です・ます形」、「過去形」、「存在詞と位置名詞」、「否定形・不可能形」、「漢数詞・固有数詞」、「日付・時刻」、「助数詞」などである。今回、この中から「指定詞」「存在詞と位置名詞」「漢数詞・固有数詞」「助数詞」を学ぶときに行う授業活動をそれぞれ紹介してゆく。

## 3. 指定詞の活用形(～이에요 / 예요)の活動例—質問ゲーム—

この文法は名詞+「～だ」を「です・ます形(해요体)」にしたものである。最後の文字にパッチムがあれば「～이에요」、パッチムがなければ「～예요」を付ける。日本語は名詞の丁寧形の場合、「～です」しか存在しないので、韓国語を学び始めた学習者は使い分けが難しく感じるのではないだろうか。

### 【準備】

メモ用紙(人数分×2)

【活動】

—質問ゲーム—

(1) グループ分け (ペアに) をする

(2) 単語を決める

例えば、教師が「果物・食べ物・人・動物・教室にある物」などの種類を指定する。

問題を出す人はその分野から単語1つを決め、それをメモ用紙に書いて隠しておく。

(3) 種類絞り

問題を当てる人は、種類を「～이에요 / 예요?」の形式で質問し、問題を出す人は「네」か「아니오」で答える。問題を出す人から「네」という答えが帰ってきたら、次の(4)に進む。

(4) 単語当て

問題を当てる人は「～이에요 / 예요?」の形式で単語を言い、問題を出す人は「네」か「아니오」で答える。そのとき問題を出す人は質問された回数を記録しておく。正解したら問題を出す人と問題を当てる人が入れ替わる。

(5) 勝敗

単語を当てるまでの質問回数が少ない学習者が勝ちである。

この活動はある程度の語彙力がないとゲームをし難いので、ある程度の語彙力のある初級者に向いているであろう。

#### 4. 存在詞と位置名詞 —ワークシートを使った活動例—

この文法の場合は存在詞 (ものの有無を表す用言を存在詞と呼ぶ) と位置名詞 (上・下・横・前・後) を一緒に使い、「～の (上・下・横・前・後) に ～がある (ない)」の文型を学ぶ。

存在詞を使うとき日本語の場合、人と動物・それ以外で「ある・いる / ない・いない」と区別して使うが、韓国語は人と動物・それ以外を使い分けず、「ある・いる」は「있다」、「ない・いない」は「없다」となる。人と動物・それ以外で区別して使う日本語よりは使い分けしない韓国語の方が簡単に使えるであろう。

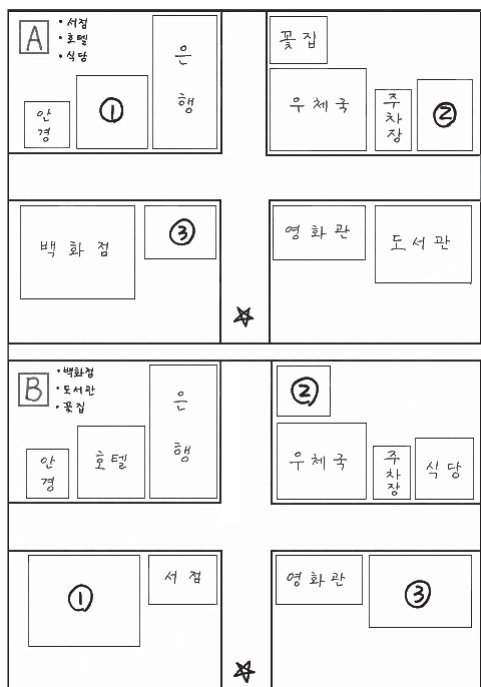
韓国語の位置名詞は、上下・前後などの位置関係を表す名詞の前では助詞「の」を付けないというのが韓国語のひとつの特徴である。日本語の場合、位置名詞の前に助詞「の」を付けないと違和感があるので韓国語を使うときも助詞「의」をつい付けてしまうので注意しなければならない。

【準備】

- ① ワークシート A, B (A, B異なる地図)
- ② ワークシート A, B (A, B異なる絵)

【活動】

—地図編—



- (1) グループ分けをする (ペアー)

一人にワークシート A を, もう一人にワークシート B を配布する。

- (2) 左上に書かれている施設の位置を相手に尋ねる

学習者 1 : 도서관은 어디에 있어요?

学習者 2 : 사거리에서 오른쪽으로 가세요. 오른쪽에 영화관이 있어요.

영화관 옆 (왼쪽) 에 도서관이 있어요.

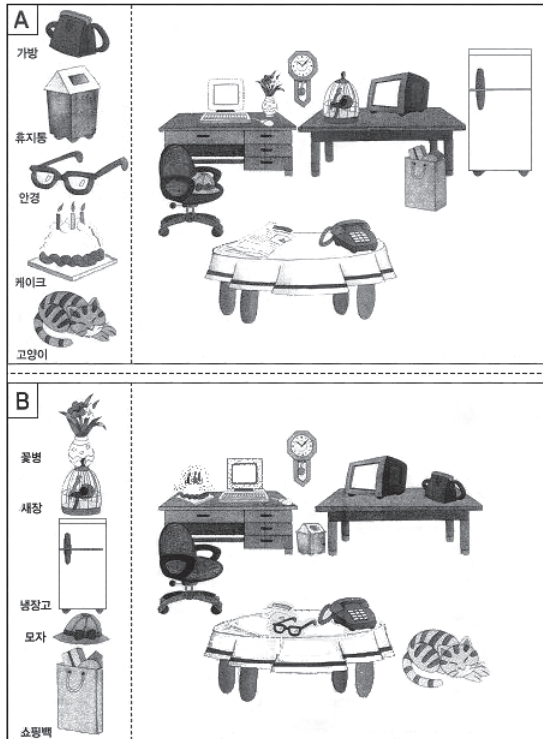
- (3) 施設の位置を探し, 番号を書く

ワークシートに聞き取った施設の位置に施設名を記入する。相手の学習者と「聞く・答える」を交互に交わしながら, 左上側に書いてある施設を全て記入したら完成である。

(4) 答え合わせ

ペアでお互いの地図を見せ合い、正しい場所に記入できたか確認する。

— 絵編 —



(出典：『100 Communication Activities for Korean Language Teachers』 p.95)

(1) グループ分けをする (ペア)

一人にワークシート A をもう一人にワークシート B を配布する。

(2) 学習者は自分が持っている絵の左側にある物を相手の学習者に尋ねる

学習者 1 : 가방은 어디에 있어요?

学習者 2 : 오른쪽 책상 위 텔레비전 오른쪽 옆에 있어요.

(3) 物の位置を探し、印を付ける

ワークシートに聞き取った物の位置にその物の絵を描くか、印を付ける。相手の学習者と「聞く・答える」を交互に交わしながら、左側写到ある物を全て記入したら完成。

(4) 答え合わせ

ペアーでお互いの絵を見せ合い、正しい場所に記したか確認する。

### 5. 漢数詞と固有数詞 —ビンゴを使った活動例—

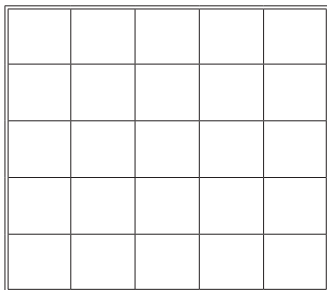
数字は日本語と同じく韓国語にも二種類（漢数字・固有数詞）の数え方がある。漢数字は日本語の「いち、に、さん……」に相当し、固有数詞は日本語の「ひとつ、ふたつ、みつつ……」に相当する。固有数詞で日本語と韓国語の違いは、日本語の固有数詞は「ひとつ」から「とお」までしかないが、韓国語は1から99までである。

学習者は漢数字の場合、1から10まで覚えれば日本語と同様に10以上の数字は組み合わせで数字が言えるようになる。また、日本語と発音が似ていることもあって覚えやすい。しかし、固有数詞の場合は1から99までである上に「20, 30, 40, 50…」と十単位で異なる発音をもつので漢数字のように1から10まで覚えて組み合わせることはできない。十単位ごとに暗記をしなければならない上に、発音も日本語と似ていないため、覚えづらく苦勞する学習者が多い。

そこで以下のアクティビティを導入することで漢数字と固有数詞を確実に区別して覚えられるように工夫している。

#### 【準備】

ビンゴ用紙 (5 × 5)



#### 【活動】

—ビンゴ—

(1) ビンゴ用紙配布

教師が学習者にビンゴ用紙を1枚ずつ配る。

## 韓国語の授業活動

(2) 学習者に1から25までビンゴ用紙に自由に書かせる

例)

3	22	8	15	11
17	9	21	1	24
25	12	6	20	7
13	23	2	4	18
5	16	19	10	14

(3) 教師が数字を漢数字・固有数字で言ったら学習者は該当する数字に○を付ける

教師：「하나! 固有数詞の하나!」

「이십! 漢数詞の이십!」

「십오! 漢数詞의십오!」

「열아홉! 固有数詞의열아홉!」

「스물다섯! 固有数詞의스물다섯!」

(4) 横, 縦, 対角線で5列を完成させる

5列を完成させたら, 学習者は「ビンゴ!」と叫ぶ。

(5) 勝敗

一番先に「ビンゴ!」を言った人が勝ちである。

この活動は数字1～25, 26～50, 51～75, 76～100と区切って練習することができる。また, 学習者が中心になってゲームをすることもできる。学習者の中から代表者を選び数字を言わせてもよいし, 参加する学習者が順番に数字を言ってもよい。ただし, このときは3～5人が一組になって行う。

数字を言うときは, 漢数詞と固有数詞を混ぜずに, 漢数字と固有数詞を別々に分けて行ってもよい。



## 6. 助数詞 —チラシを使った活動例—

助数詞とは数量を表す語の下に付ける語, つまり物を数えるときの単位である。助数詞も固有数詞同様に発音などが日本語に似ていないため, 学習者は完全に暗記しなければならないのでなかなか覚えづらい。また, 彼らは日本語と使い方が違う助数詞も存在するので, 覚えるのになかなか大変だという声をよく聞く。

ただ、助数詞を覚えるだけでは実践では使えないため、教室での活動を通して慣れてもらい、実践においても使えるようにしたいところである。

【準備】

チラシ A, B

<p><b>홈플러스</b></p>  <p>돼지고기 100g 680원 닭 1마리 5,680원 파 1단 1,220원 계란 1판 4,980원 수박 5,800원 오렌지주스 2개 2,480원 커피 3,500원 라면 450원 바나나 100g 180원 선풍기 19,800원 에어컨 998,000원</p>		<p><b>쇼핑 목록 A</b></p> <p>~~~~(이마트)~~~~</p> <p>돼지고기 100g _____ 원 닭 1마리 _____ 원 파 1단 _____ 원 바나나 100g _____ 원 에어컨 1대 _____ 원 오렌지주스 2개 _____ 원 선풍기 1대 _____ 원 수박 1통 _____ 원 계란 1판 _____ 원 커피 1봉 _____ 원 라면 1개 _____ 원</p>
<p><b>이마트</b></p>  <p>돼지고기 100g 600원 닭 1마리 5,300원 파 1단 1,200원 계란 1판 4,570원 수박 6,400원 오렌지주스 2개 3,100원 커피 2,200원 라면 500원 바나나 100g 150원 선풍기 18,800원 에어컨 1,200,000원</p>		<p><b>쇼핑 목록 B</b></p> <p>~~~~(홈플러스)~~~~</p> <p>돼지고기 100g _____ 원 닭 1마리 _____ 원 파 1단 _____ 원 바나나 100g _____ 원 에어컨 1대 _____ 원 오렌지주스 2개 _____ 원 선풍기 1대 _____ 원 수박 1통 _____ 원 계란 1판 _____ 원 커피 1봉 _____ 원 라면 1개 _____ 원</p>

(出典：『100 Communication Activities for Korean Language Teachers』 pp.119-120.)

【活動】

- (1) グループ分けをする (ペアー)
- (2) チラシを配る

教師は物の値段が違う A チラシ, B チラシを学習者に配る。そのときチラシはお互い見えないようにする。

- (3) 学習者は自分が持っているチラシにある物の値段を相手の学習者に尋ねる
 

学習者 A : 홈플러스는 돼지고기 100그램에 얼마예요?

学習者 B : 680 원이에요. 이마트는 돼지고기 100그램에 얼마예요?

学習者 A : 600 원이에요.

尋ねたら右側の欄に聞き取った相手の値段を書いておく。



#### (4) 値段の比較

学習者がお互いの値段を聞き終えたら、教師はそれぞれのチラシの値段を学習者に聞き、どこの店がどのくらい安いのかを聞く。

教師：홈플러스는 수박 1 통에 얼마예요?

学習者 A：5800 원이에요.

教師：이마트는 얼마예요?

学習者 B：6400 원이에요.

教師：그럼, 어디가 어디보다 얼마 더 싸요?

学習者 A, B：이마트보다 홈플러스가 600 원 더 싸요.

## 7. おわりに

今回は韓国語初級レベルの文法を学習する際に学習者になるべく楽しく積極的に参加でき、覚えやすいようにするための教室活動4つを紹介した。これら以外にも教室での活動は様々に存在するが、現時点ではこれらの4つの活動を通して学習者は教室での活動に慣れ、より良い学習効果を得られているという実感が主観的ではあるが感じている。

今回紹介したもの以外にも中級、上級用の活動も筆者は用いているが、それらの紹介に関しては次の機会に譲りたい。今後の課題として、今回紹介した授業活動がどのくらい実際の言語習得につながっているのか、等の実証面での研究も必要となってくるであろう。韓国語学習者のためにも授業改善や実践研究を今後も積極的に行ってゆきたい。

### 参考文献

- ホヨン・オムンギョン (2007) 『100 Communication Activities for Korean Language Teachers』 図書出版パクイジョン
- JAKEHS 教室活動集編集チーム (2009) 『韓国語アクティビティ 45』 白帝社
- 油谷幸利・南相瓊 (2004) 『総合韓国語 1』 白帝社